



3月議会 一般質問

3月定例議会の一般質問の様子を右側のQRコードからご覧ください。時間がない人のために概要と私の考えをミックスして若干の偏見を加えまとめさせていただきました。正確なやりとりは動画や議事録でご確認ください。



①空き家対策について

(1)空家がどんどん増えています。倒壊の危険がある、景観を著しく損ねる、放火のリスク、衛生上有害になる、近隣住民の不利益につながる空き家をなんとかしないといけません。今まで行政は持ち主に連絡をするところまでしかできませんでした。令和4年度に対策計画がまとまり「特定空き家」に認定する事によって助言、指導、勧告、命令、行政代執行までできるようになりました。令和4年度は特定空き家に1件が認定されました。旭市では初めての認定ですので大きな一歩です。認定された事により持ち主も解体に向けて動き出したそうです。解体費用の補助制度なども使って管理されていない空き家を減らしていかなくてはなりません。

令和5年度に1300万円をかけて空き家調査をします。5年前にも同じような調査をやりました。現状把握は必要ですが調査の頻度が多すぎると思います。5年ごとに調査をやるくらいなら解体費用の補助の件数を増やした方が解決に繋がると思います。問題を先送りにすれば事態はさらに悪化します。相続人や権利者が増えて複雑化します。早急な対策を求めていきたいと思っています。



(2)まだ使える空き家を有効活用するために「空き家バンク」が作られました。まだ始まったばかりで登録されている物件はありません。これから各世帯に空き家バンクの案内が届くと思います。無駄に眠っている物件などがありましたら登録をお願いします。人が住んでいない物件は急激に痛みます。放置をせずに売るか貸すか試してみたいと思います。

サーファーの方や移住希望者などから古くても良いので安い物件はないか問い合わせが多いです。需要はありますので登録をお願いします。ただ一つ問題があります。空き家バンクは昭和56年6月以降に着工した建物しか登録できません。耐震基準のためだと思いますが、この基準は取っ払って欲しいと思っています。自己責任で良いので古くても安い物件を買いたい人は沢山います。そもそも昭和56年以前に建てられた居宅に住んでいる市民も沢山います。古い家の有効活用が目的のではありません。比較的新しい家の売買なら不動産屋がやっています。行政は不動産屋が扱わない物件をやることに意味があると思います。

②道の駅「季楽里あさひ」について

(1)道の駅「季楽里あさひ」に出品している人から『商品を置きたいのに置けない』という相談がありました。旭市は数多くの産品があります。陳列できないのは機会の損失に繋がります。売り場面積を増やして欲しいのですが、すぐには難しいとの回答がありました。レイアウトなどを工夫して売り場面積を広げる努力をしているそうです。できれば売りたい物が全て受け入れられる体制があると望ましいと思います。旭市は農業産出額千葉県1位、全国6位です。首都圏の食糧庫と言っても過言ではありません。その道の駅が他の道の駅と同じ規模ではもったいないです。地元の食材が網羅された庄巻の道の駅になると嬉しいです。



一般質問では取り上げていませんが、食堂に目玉商品があると良いと思います。とても美味しいのですがストーリーのアピールがありません。地元の豚肉や野菜を使っている事をもっと大々的に伝えて欲しいです。少し高くても良いのでメディアやSNSに取り上げられるメニュー作りにも取り組んで頂きたいです。季楽里あさひはまだまだ伸びる可能性があると思っています。

(2)店舗型のふるさと納税というモノがあります。訪れた施設で直接寄付を行い、その場で返礼品を受け取れるシステムです。これを季楽里あさひに導入できないかと考えました。返礼品は地元の物に限られます。道の駅では市外の商品も扱っているため店舗型ふるさと納税の導入は難しいとの事でした。やっている自治体もあるので不可能ではないはずです。例えば道の駅の商品を旭市の産品だけにすれば可能です。ふるさと納税を増やすために前向きに検討して欲しいと思います。

③情報セキュリティと業務効率について

電子メールでファイルを送る時にセキュリティのためにファイルとパスワードを2通のメールに分けて送っています。これがセキュリティの面でも業務効率の面でもナンセンスだと思います。政府や民間ではこの方式はセキュリティとして問題があるために廃止されつつあります。当市の見解は、以前の指針に則って導入されているということと、コスト面ですぐには変えられないとの事でした。そもそも、セキュリティは必要なのでしょうか？議員にメールで送られてくるファイルは機密に当たるものはほとんどありません。案内や報告くらいです。それにセキュリティをかける必要はありません。本来、外に出してはいけない個人情報や機密文章はメールで送るべきではありません。セキュリティの基準を見直していく時期かも知れません。脱印鑑の時もそうでしたが、廃止してみると不具合もなく快適になりました。窓口での三文判の押印に何の意味があったのでしょうか。日本の行政には意味がなく効率の悪い慣習が多々あると思います。職員にも市民にも負担になっています。省けるものは省き業務効率を上げていくべきです。一つ一つは小さな事ですが積み重ねると大きな負担軽減になると思います。

思 考 事

『予算について』

3月議会は予算が大きな議題です。分厚い予算書に目を通します。予算案は市長をトップとした行政が作ります。それを議会がチェックします。議員の一番大きい仕事はこれです。中にはコストパフォーマンスが悪い事業や無駄に感じる事業もあります。しかし、誰かにとっては必要な事業です。新しい道路が無駄だと思う人もいますが必要としている人もいます。各種イベントを削るべきだと思う人もいますがやりたい人もいます。市に無駄な予算はあまりないように感じます。あるのは優先順位です。市長も「選択と集中」という言葉を使っていますがその通りだと思います。300億円をどう使うか。何か新しい事をやるには何かを削らないと出来ません。一度付けた予算を剥がすのは決断がいります。ですので新しい事業は慎重になるようです。しかし、市長にはもっと思い切った予算編成をして欲しいです。特に子育てと教育にはもっとお金を使っても良いと感じました。兵庫県明石市では子どものための予算が倍増された結果10年連続人口増に繋がっています。岡山県奈義町では子育てしやすい環境や支援を整えた事によって出生率2.95を記録しました。良い先進事例は参考にして頂きたいと思います。

これをやるには税収を増やすか、事業を削る必要があります。税収を増やすためには「ふるさと納税」と「企業版ふるさと納税」が可能性があると思います。旭市の知名度を上げる活動を今後も取り組んでいきたいと思っています。もう一つは何を削るかですが、緊急性のない公共事業が対象になると思います。すでに計画にあります公共施設の統廃合も必要になってきます。それと商工業を直接支援しなくても生産年齢人口が増える事によってプラスの影響が出るはずですが、この辺を少しずつ削って子どものための予算を増やしてはどうでしょうか。必要があれば微々たるものですが議員の定数や給料を減らしても良いと思います。このような考えて活動してきましたし今後も尽力していきます。

その他の活動

竜王まつりの開催

4月2日に「あさひの芸術祭」のオープニングイベントとして飯岡漁港で開催いたしました。芸術でまちを活性化すると共に漁港の美化と有効活用を実現していきたいと思っています。



ロケのお手伝い

市ではロケを誘致する取り組みをしています。民間実行部隊「おっべし隊」に所属してお手伝いをしています。エキストラの募集をしていく予定です。一緒に旭市を日本一ロケがしやすい地域にしていきたいでしょう。



愚 痴

『無駄な金』

2年近く議員活動をさせていただき市の予算には無駄は少ない事がわかりました。効率化は必要ですが、不正や公平性に欠ける取引はみつきりませんでした。その反面、国の事業は無駄と矛盾がとても多いです。例えば観光庁の某補助金なのですが、10人弱の日帰りバスツアーが2回開催されて600万円の補助金が出ています。試験的な部分もあるのでコストパフォーマンスだけでは語れませんが、それにしても効率が悪すぎます。なんでこんな事になるのかというと、1カ月前くらいに急に補助金の話が来ます。大量の申請書を役人ウケするように作らなくてはなりません。事業のコストパフォーマンスよりも要旨に合致しているかどうかで事業が採択されます。採算などは関係なく役人が納得する文書を書いたもの勝ちなのです。旭市のためになるように600万円を有効活用した企画が落選し、採算度外視の企画が採択されました。このような事業が全国のいたるところで発生しています。業者が空のバスを走らせ、それっぽい報告書をだすだけの事業もありました。国の事業は基本法に沿って予算が配分されます。地域のためになることより、その理念に沿った事業、団体にお金流れます。これが無駄の原因の一つだと思います。そんな紐付きの予算ではなく自由に使えるお金を地方自治体にください。ゴトウー〇〇にお金を使うなら教育関連に使って下さい。旅行や外食に行ける人の贅沢より、生きるのに精いっぱいの子育て世帯、お年寄り世帯に配って下さい。税金や社会保険料などを合わせた「国民負担率」が所得の47.5%だという発表がありました。所得の半分も税金や社会保険料を納めているのに、老いも若きも貧困状態なんて問題があるとしか考えられません。

現在の日本が不幸なのは選択肢がない事です。「どこに投票しても変わらない」というあきらめがあります。そのあきらめが変化しない事を容認してしまいます。政治に関心を持って下さい。話題に出して下さい。選挙で投票して下さい。SNSで発信して下さい。その積み重ねでしか国は変えられません。日本は良い国です。治安が良くて、衛生的で、ご飯がおいしい。大きな不満はないかも知れません。それでも未来のために考え行動しましょう。

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせは遠慮下さい。

PTA会長と商工会青年部長の任期が終わりました。これからは議員活動に集中します。Eメールはすぐに返信させていただきますが、お手紙が返信できていません。申し訳ございません。拝読して活動の参考にさせていただいております。

令和5年5月 第7号



猫のご飯は沢山用意されて
いるのに私の夕飯はない

発行元

旭市議会議員

永井孝佳

〒289-2706

千葉県旭市下永井574-1

090-9332-1632

bbnagai@yahoo.ne.jp